

## 海津市コミュニティバス利用状況

## I 総利用者数と推移

## 1. 総利用者数

## (1) 利用者数の推移

平成 29 年度（平成 28 年 10 月～平成 29 年 9 月）1 年間の総利用者数は、106,872 人であり、再編前 1 年間の利用者数 136,481 人と比べ、78.3%になっています。

これは、定時定路線からデマンド交通への移行に際して、土日祝日が運休となっていること、及び定時定路線を利用していた高校生の利用減が主な要因と思われます。なお、平成 27 年 10 月からの再編時に運賃を値上げしたことも影響しているものと思われます。

昨年度 1 年間と比べると、94.2%に減少（5.8%減）しており、減少傾向が続いています。この間の人口減少率（前年比で約 1.5%程度）を超える減少率になっています。

表 1 年間の総利用者数の比較

	①再編前 1 年間 H26 年 10 月～ H27 年 9 月	②再編後 1 年目 H27 年 10 月～ H28 年 9 月	③再編後 2 年目 H28 年 10 月～ H29 年 9 月
総利用者数	136,481 人	113,117 人	106,872 人
指数（対①）	1.00	0.828	0.783
指数（対②）		1.00	0.942
備考	キッズを除く		

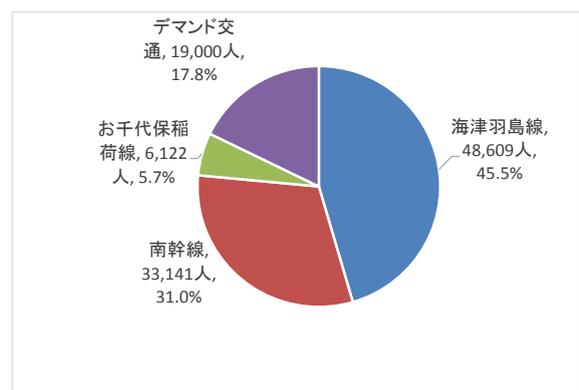
表 2 海津市人口の推移

	人口	対前年 増減数	対前年比
H23年	38,816	-	-
H24年	38,254	-562	-1.45%
H25年	37,740	-514	-1.34%
H26年	37,213	-527	-1.40%
H27年	36,670	-543	-1.46%
H28年	36,089	-581	-1.58%
H29年	35,540	-549	-1.52%

各年4月1日現在

平成 29 年度の路線別利用者数は、定時定路線の海津羽島線が 48,609 人（45.5%）、南幹線が 33,141 人（31.0%）、お千代保稲荷線が 6,122 人（5.70%）、デマンド交通が 19,000 人（17.8%）であり、海津羽島線が半数近くを占めています。

図 1 平成 29 年度 路線別利用者数



## (2) 券種別利用者数の推移

定時定路線の券種別利用者数を平成 29 年度と平成 28 年度と比較すると、現金と通勤定期は増加していますが、回数券、通学定期、乗継券は減少しています。中でも、通学定期の減少率が大きく、平成 29 年度は平成 28 年度の約 76%に減少しています。高校生の利用が減少したものと想定されます。

なお、定時定路線とデマンド乗継券は年間で 38 人のみであり、定時定路線とデマンドとの乗継は少ないといえます。

表 3 券種別利用者数の変化

	H28年度 H27.10～H28.9			H29年度 H28.10～H29.9			変化	
	定時定路線3路線 +デマンド利用者数	券種別 割合		定時定路線3路線 +デマンド利用者数	券種別 割合		増加数 H29-H28	増減率 H29/H28
定時定路線	現金	33,245	35.2%	現金	36,293	41.3%	3,048	109.2%
	回数券	21,066	22.3%	回数券	20,920	23.8%	△ 146	99.3%
	通勤定期	297	0.3%	通勤定期	526	0.6%	229	177.1%
	通学定期	39,547	41.8%	通学定期	29,893	34.0%	△ 9,654	75.6%
	乗継券	90	0.1%	乗継券	38	0.0%	△ 52	42.2%
	無料	271	0.3%	無料	202	0.2%	△ 69	74.5%
	①合計	94,516	100.0%	①合計	87,872	100.0%	△ 6,644	93.0%
デマンド交通	②デマンド交通	18,601		②デマンド交通	19,000		399	102.1%
合計	①+②総合計	113,117		①+②総合計	106,872		△ 6,245	94.5%

## 2. 利用者数の推移

### (1) 総利用者数の月別の変化と前年度との比較

平成27年10月から平成29年10月の2年間の月別総利用者数は下図の通りです。入社・入学期の4月～6月までは増加し、7月～9月及び1月～3月は学生の長期休暇等で減少しています。

平成28年10月～平成29年10月の月別利用者数を前年度と比較すると、毎月減少しており、平成29年10月1日からのダイヤ改正後も減少しています。

図1 総利用者数の月別推移

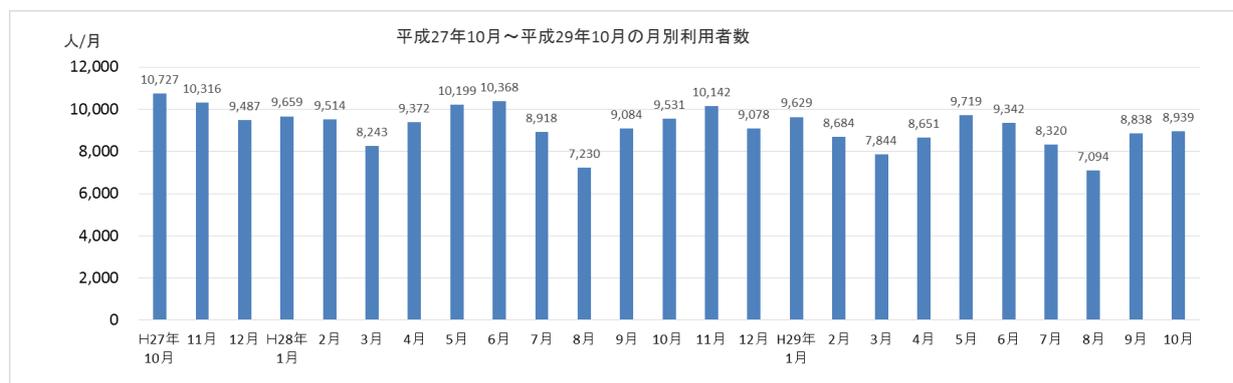


表1 総利用者数の前年度比

	総利用者数 (人/月)	対前年度比 (%)
H28年10月	9,531	-13.7%
11月	10,142	-1.7%
12月	9,078	-4.3%
H29年1月	9,629	-0.3%
2月	8,684	-8.7%
3月	7,844	-4.8%
4月	8,651	-7.7%
5月	9,719	-4.7%
6月	9,342	-9.9%
7月	8,320	-6.7%
8月	7,094	-1.9%
9月	8,838	-2.7%
10月	8,939	-6.2%
平均		-5.8%

## (2) 路線別の推移

### ①海津羽島線

- ・通勤通学利用が多いため、月によって大きく変動。
- ・平成28年10月～平成29年10月の利用数を前年度と比較すると、月によって変動がありますが、平均（合計値）では、ほぼ横ばい。

### ②南幹線

- ・通勤・通学のほかに海津温泉利用等があるため、月別の変動はやや小さい。
- ・平成28年10月～平成29年10月の利用数を前年度と比較すると、平均（合計値）では15.6%の減少。ただし、ダイヤ改正後の平成29年10月は2.3%増加。

図2 路線別の月別推移と対前年比

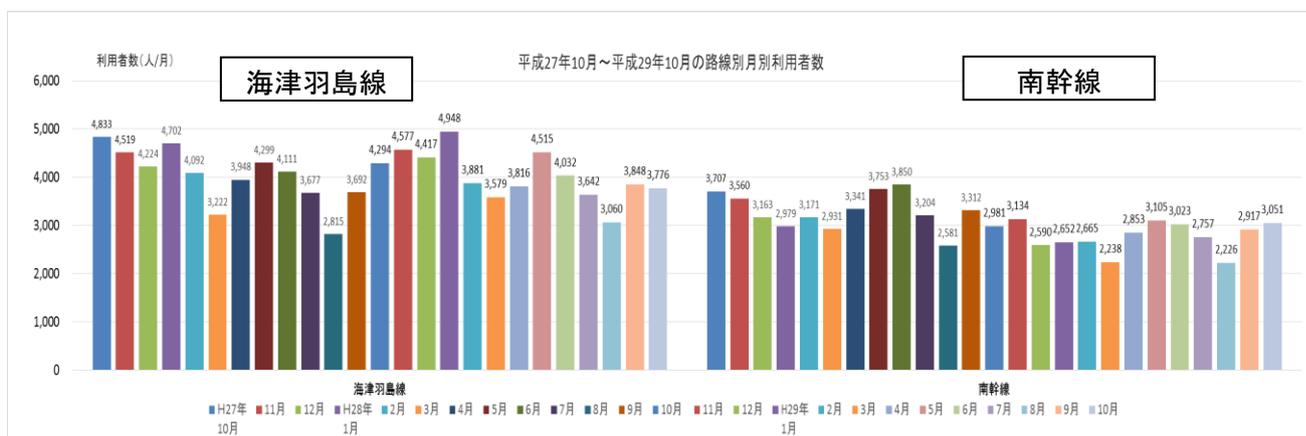


表2 路線別利用者数

### 海津羽島線

	利用者数 (人/月)	対前年度比 (%)
H28年10月	4,294	-11.2%
11月	4,577	1.3%
12月	4,417	4.6%
H29年1月	4,948	5.2%
2月	3,881	-5.2%
3月	3,579	11.1%
4月	3,816	-3.3%
5月	4,515	5.0%
6月	4,032	-1.9%
7月	3,642	-1.0%
8月	3,060	8.7%
9月	3,848	4.2%
10月	3,776	-12.1%
平均		-0.1%

### 南幹線

	利用者数 (人/月)	対前年度比 (%)
H28年10月	2,981	-26.0%
11月	3,134	-12.0%
12月	2,590	-18.0%
H29年1月	2,652	-11.0%
2月	2,665	-16.0%
3月	2,238	-23.6%
4月	2,853	-14.6%
5月	3,105	-17.3%
6月	3,023	-21.5%
7月	2,757	-14.0%
8月	2,226	-13.8%
9月	2,917	-11.9%
10月	3,051	2.3%
平均		-15.5%

③お千代保稲荷線

- ・主に通学利用のため、月別に変動。
- ・平成28年10月～平成29年10月の利用数を前年度と比較すると、平均(合計値)では12.4%の減少。

④デマンド交通

- ・通院、買い物等の利用が主なため、月別変動は少ない。
- ・平成28年10月～平成29年10月の利用数を前年度と比較すると、増減をくりかえしているが、平均(合計)では2.4%の増加。

図3 路線別の月別推移と対前年比

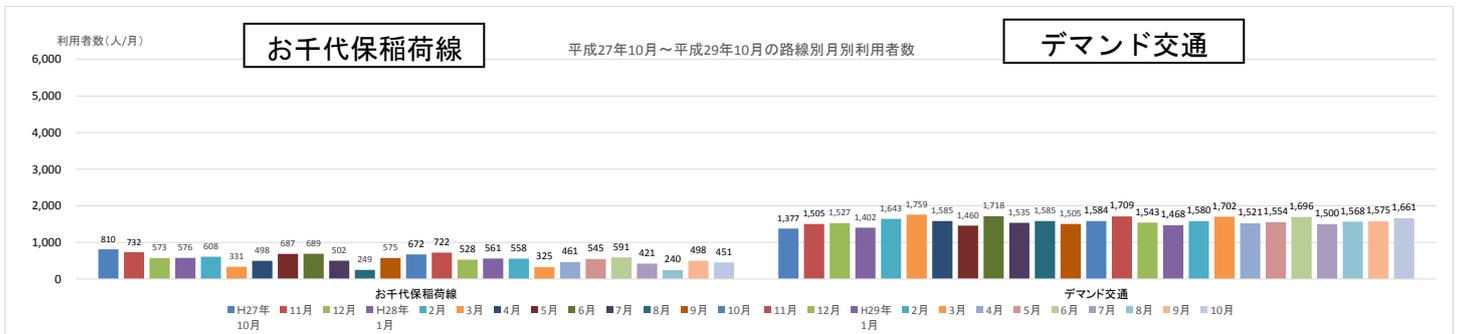


表3 路線別利用者数

	利用者数 (人/月)	対前年度比 (%)
H28年10月	672	-17.0%
11月	722	-1.4%
12月	528	-7.9%
H29年1月	561	-2.6%
2月	558	-8.2%
3月	325	-1.8%
4月	461	-7.4%
5月	545	-20.7%
6月	591	-14.2%
7月	421	-16.1%
8月	240	-3.6%
9月	498	-13.4%
10月	451	-32.9%
平均		-12.4%

	利用者数 (人/月)	対前年度比 (%)
H28年10月	1,584	15.0%
11月	1,709	13.6%
12月	1,543	1.0%
H29年1月	1,468	4.7%
2月	1,580	-3.8%
3月	1,702	-3.2%
4月	1,521	-4.0%
5月	1,554	6.4%
6月	1,696	-1.3%
7月	1,500	-2.3%
8月	1,568	-1.1%
9月	1,575	4.7%
10月	1,661	4.9%
平均		2.4%

### 3. 鉄道駅バス停の利用者数

コミュニティバスと鉄道との乗継等の状況を把握するため、鉄道駅バス停の乗降者数等を整理しました。

#### (1) 鉄道駅バス停の乗降者数

平成29年度（平成28年10月～平成29年9月）の駅バス停の乗降者数は、岐阜羽島駅が32,856人で最も多く、駒野駅、石津駅は1万人弱です。

表1 駅バス停の乗降者数（平成29年度）

	駒野駅	石津駅	岐阜羽島駅
乗降者数	9,928人	7,334人	32,856人

#### (2) 駅別の推移

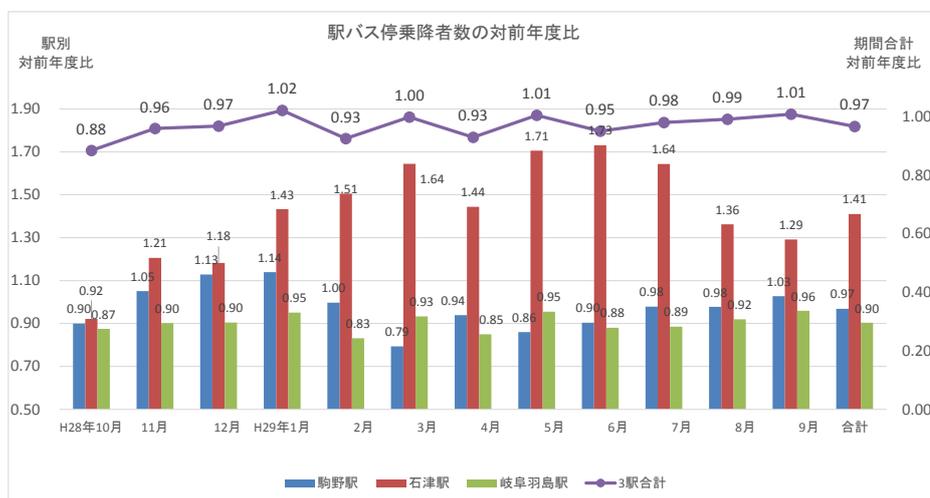
駒野駅・石津駅・岐阜羽島駅バス停乗降者数の前年度比をみると、3駅バス停合計では、1年間で約3%減少しています。

- ・石津駅は41%増となっており、海津羽島線の延伸・石津駅接続の効果。
- ・駒野駅は3%減、岐阜羽島駅は10%減少しており、朝夕の通勤・通学利用の減少による。

表2 総利用者数の前年度比

	駒野駅	石津駅	岐阜羽島駅	3駅合計
H28年10月	0.90	0.92	0.87	0.88
11月	1.05	1.21	0.90	0.96
12月	1.13	1.18	0.90	0.97
H29年1月	1.14	1.43	0.95	1.02
2月	1.00	1.51	0.83	0.93
3月	0.79	1.64	0.93	1.00
4月	0.94	1.44	0.85	0.93
5月	0.86	1.71	0.95	1.01
6月	0.90	1.73	0.88	0.95
7月	0.98	1.64	0.89	0.98
8月	0.98	1.36	0.92	0.99
9月	1.03	1.29	0.96	1.01
合計	0.97	1.41	0.90	0.97

※乗降者数は、海津羽島線・南幹線・お千代保稲荷線のバス停



### Ⅲ デマンド交通の利用特性

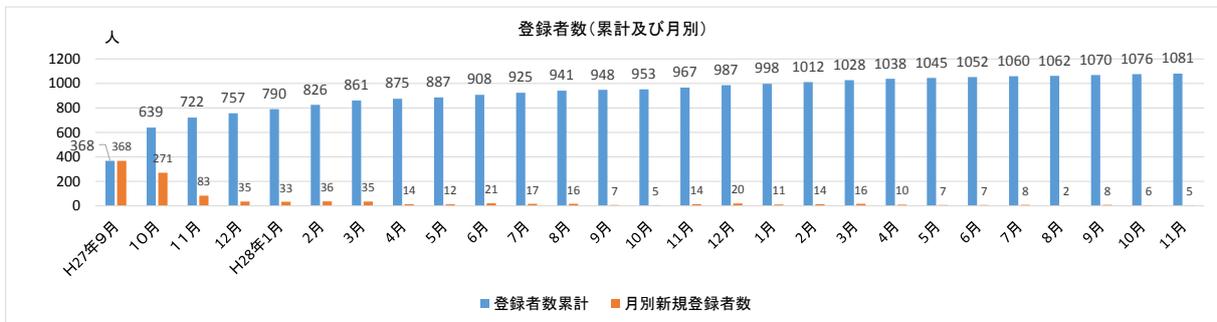
運行開始（平成 27 年 10 月 1 日）以降、平成 29 年 12 月 8 日までの利用実態を整理・分析しました。これまでに報告してきた特性と同様の結果になっています。

なお、予約システムによる予約状況データをもとに整理・分析したもので、実乗車人員とは異なります。

#### 1. 利用者登録状況

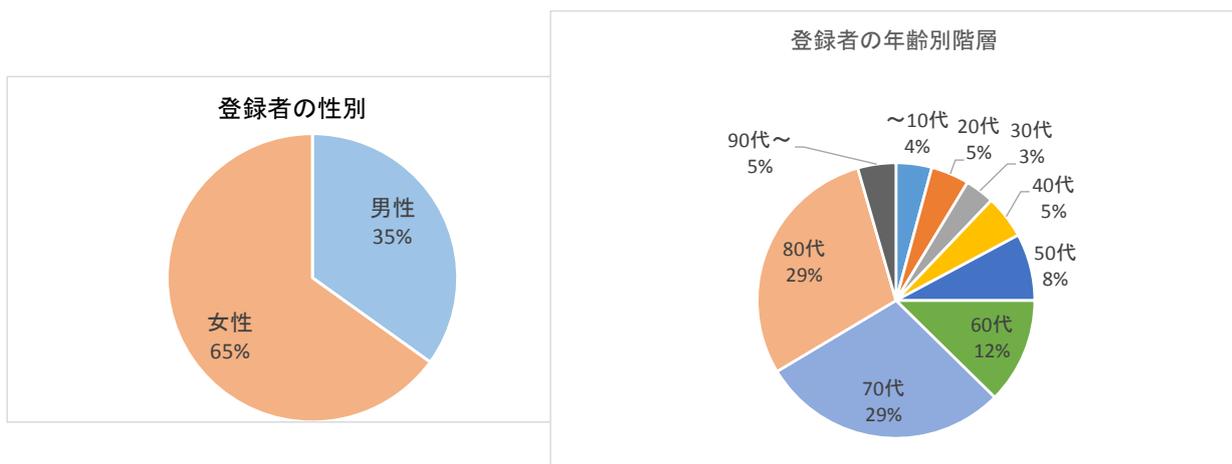
##### (1) 登録者数の推移と実際の利用割合

運行開始（10 月 1 日）前の 9 月に 368 人の登録があり、その後の登録者数の増加率は減少傾向ですが、最近では月に 10 人未満の登録があり、平成 29 年 11 月までに累計で 1,081 人が登録されています。なお、登録しなくても利用できるため、利用者の数とは一致しません。



##### (2) 登録者の属性

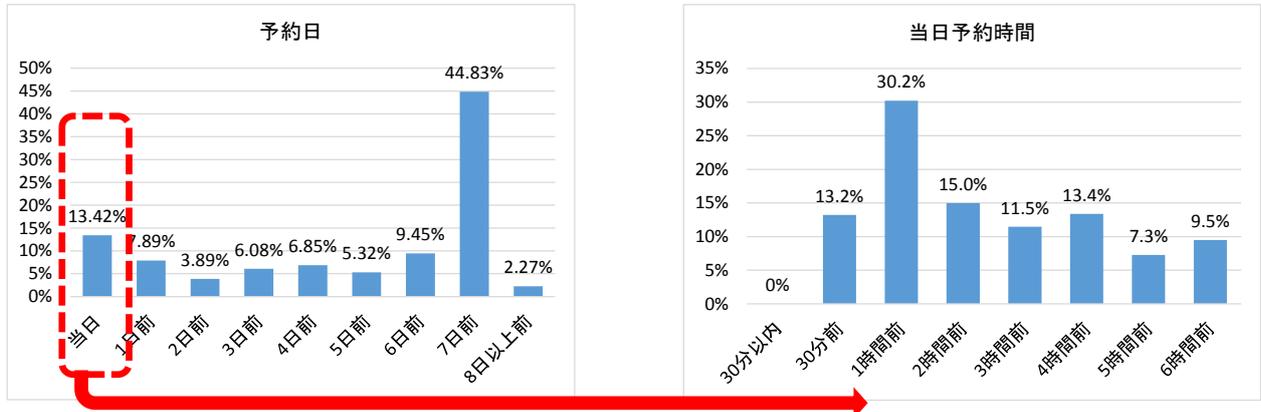
登録者の約 65%は女性であり、年齢別にみると 60 歳以上の高齢者が約 75%を占めています。（平成 29 年 12 月 8 日までの累計）



## 2. 予約状況

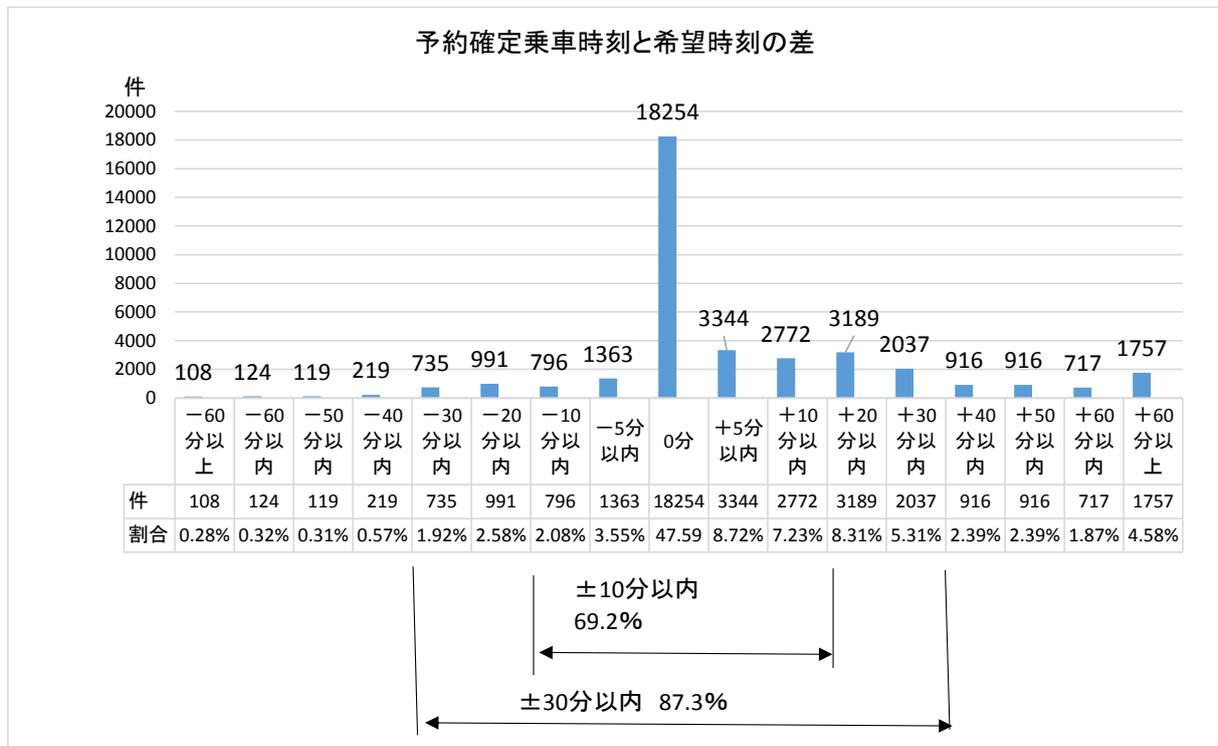
### (1) 予約時期

予約日は、運行 7 日前が最も多く、通院予約や定期的な利用が多いものと思われます。次いで多いのは、当日になっており、当日の中では 1 時間前が最も多く、利用時刻がほぼ決まってから予約される方が多いものと思われます。(平成 29 年 12 月 8 日までの累計)



### (2) 乗車時刻と希望時刻との差

希望の時刻通りに予約が成立した割合は 47.6%、希望時刻の±10 分以内で予約が成立したのは 69.2%、±30 分以内では 87.3%に達しており、概ね希望時刻通りに予約できているといえます。(平成 29 年 12 月 8 日までの累計)



### (3) 予約のお断り状況

予約をお断りした件数は、毎月 100 件以上で推移しています。

その理由について、平成 27 年 10 月以降の半年間ごとの推移をみると、平成 27 年 10 月～平成 28 年 3 月には「希望する時間に車両が空いていなかったため」とする理由が 165 件・31.5%でしたが、その後徐々に減少し、平成 29 年 4 月～9 月では 13 件・1.9%であり、効率的な車両運用が行われてきていると考えられます。

#### 予約のお断り件数とその理由

	予約お断り 件数	お断りの理由(件数)			
		希望する時 間に車両が 空いていな かったため	すぐに来て ほしいと希 望されたが 対応できな かったため	希望時間が 運行時間外 の為	客の都合他
H27年10月	15	15	0	0	0
11月	70	27	1	1	41
12月	69	26	1	1	41
H28年1月	109	35	0	0	74
2月	115	30	1	0	84
3月	145	32	0	1	112
H28年度上期小計	523	165	3	3	352
理由の割合	100.0%	31.5%	0.6%	0.6%	67.3%
4月	151	15	0	0	136
5月	103	4	0	1	98
6月	114	8	0	0	106
7月	117	16	0	0	101
8月	112	4	0	0	108
9月	129	2	0	0	127
H28年度下期小計	726	49	0	1	676
理由の割合	100.0%	6.7%	0.0%	0.1%	93.1%
10月	116	5	0	0	111
11月	103	5	0	0	98
12月	105	7	0	0	98
H29年1月	104	4	0	0	100
2月	124	3	0	0	121
3月	151	3	0	0	148
H29年度上期小計	703	27	0	0	676
理由の割合	100.0%	3.8%	0.0%	0.0%	96.2%
4月	167	0	0	0	167
5月	85	2	0	0	83
6月	114	4	0	0	110
7月	83	2	0	0	81
8月	129	4	0	0	125
9月	117	1	0	0	116
H29年度下期小計	695	13	0	0	682
理由の割合	100.0%	1.9%	0.0%	0.0%	98.1%

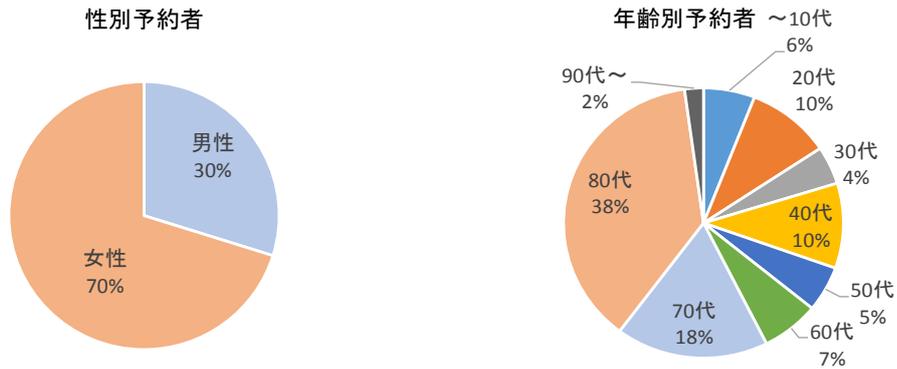
### 3. 利用状況

#### (1) 予約者の属性

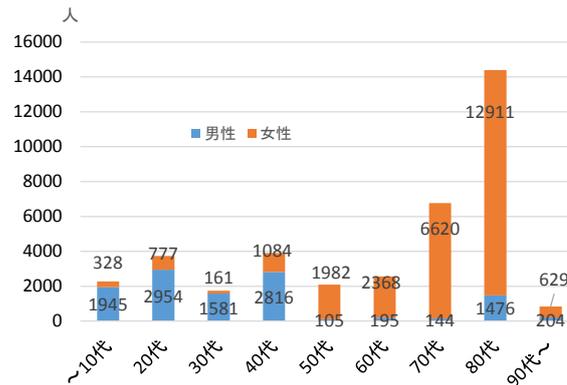
乗車予約をされている方は、登録者と同様に、女性が約70%となっています。

年齢別には、登録者と同様に60歳以上の高齢者が約65%を占めていますが、なかでも80歳代の方の利用が多くなっています。

また、性別年齢別にみると、高齢者は女性、40歳代までは男性の予約が多いことがわかります。(平成29年12月8日までの累計)

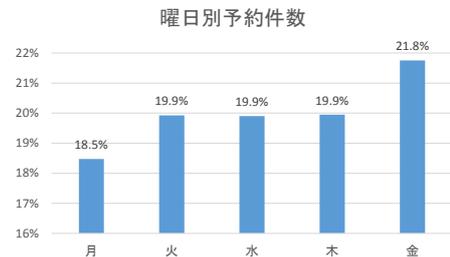


性別年齢別予約者



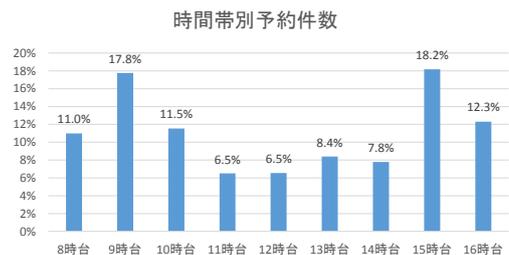
#### (2) 曜日別予約状況

予約された曜日は金曜日が最も多く、月曜日がやや少ない傾向があります。



#### (3) 時間帯別予約状況

予約されている時間は、午前中は9時台、午後は15時台が多くなっています。



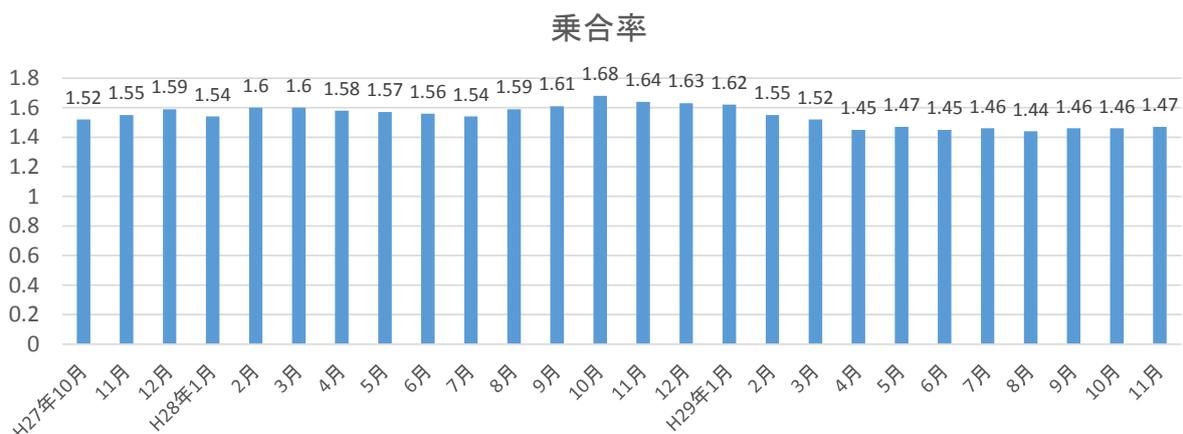
#### (4) 乗り合わせ状況

1回の運行（「1運行」\*と定義します。）で複数の予約に対応すれば、乗合区間が発生します。（ここでは、1つの予約に2人以上が同時に乗車する場合は除きます）

この乗合区間の比率（ここでは、「乗合率」\*と定義します。）は、1.45前後であり、1運行の中の約45%程度の区間は2つ目の予約に対応している状況になっており、かなり乗合されていることがわかります。

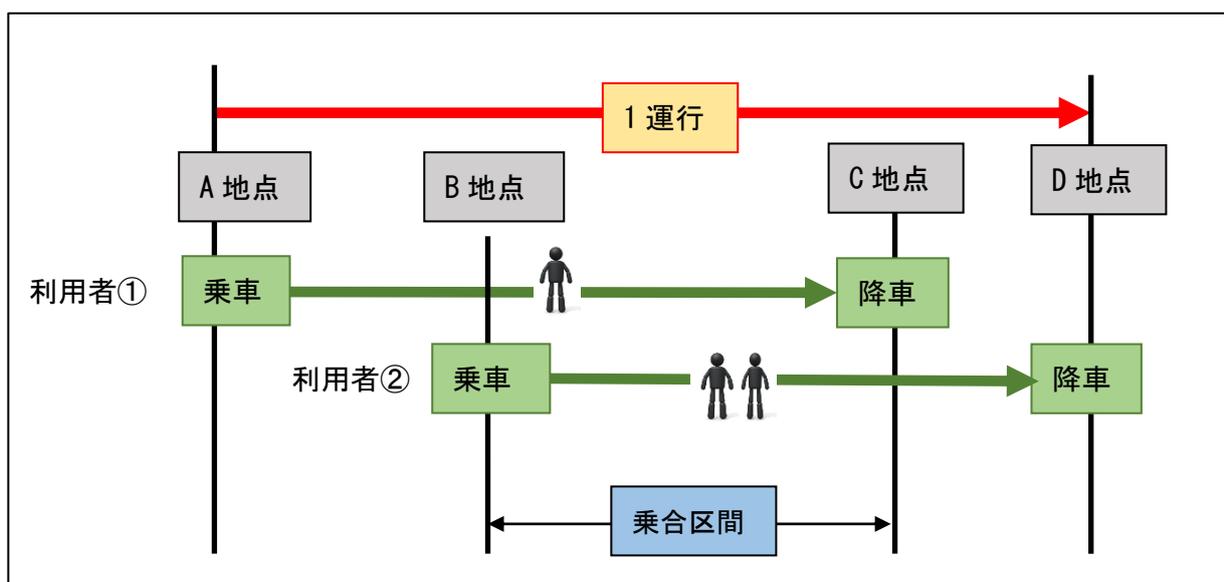
※1運行：空車のバスに乗客が乗車してから最後の乗客が降車するまでの運行を1運行と定義します。

※乗合率：乗車①と乗車②の運行時間合計÷1運行の運行時間（下図参照）と定義します。



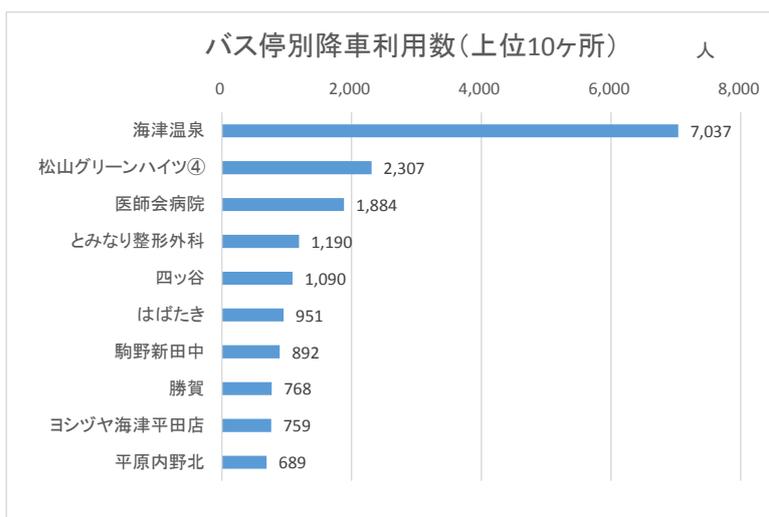
#### ■ 乗合区間の例

（利用者①は、A地点で乗車しC地点で降車。利用者②は、B地点で乗車しD地点で降車。B地点とC地点間では利用者①と②が乗合している）



### (5) バス停別利用者数

利用の最も多いバス停は海津温泉であり、次いで松山グリーンハイツ、医師会病院となっています。公共施設、診療所、スーパーなどが上位に上がっており、温泉、通院、買い物目的での利用が多いことがうかがえます。



### 乗降組合わせ(上位 10 件)

	乗車場所	⇒	降車場所	利用数
1	海津温泉	⇒	松山グリーンハイツ④	1,080
2	松山グリーンハイツ④	⇒	海津温泉	1,055
3	勝賀	⇒	海津温泉	757
4	海津温泉	⇒	勝賀	753
5	海津温泉	⇒	平原内野北	647
6	平原内野北	⇒	海津温泉	608
7	大垣共立銀行海津支店	⇒	駒野新田中	520
8	岡田医院	⇒	松山グリーンハイツ④	516
9	松山グリーンハイツ④	⇒	岡田医院	516
10	駒野新田中	⇒	大垣共立銀行海津支店	514